

職員の皆さんへ

早くも6月を迎えました。

先月末には県内の自治体トップが逮捕されるという衝撃的なニュースが飛び込んできましたが、その後の報道で明らかになった事件の中身については決してあってはならないことであり「他山の石」として胸に刻みながら、私たちは昨年定めた「自戒の日」をあと一ヵ月後に控え、今一度公務員としての責務を自らに問い続けながら日常業務にがんばってまいりたいと思います。

6月1日にはすでに私は伊東市に移動しており三浦按針ゆかりの4都市パートナーシップ連携協定に基づく防災体制づくりなどの協議を行なっています。またこれに続いて全国市長会にも出席していますので、留守の間、寺田副市長、杉澤教育長を中心に業務遂行に専念していただきたいと思います。

さて、平成25年度平戸市観光統計がまとまりましたが、2年連続の増加傾向に関係者一同喜んでいきます。特に観光消費額の増加については、市民所得の向上に大きく貢献できているものと思いき、これまでの農林水産現場や物産戦略における関係職員各位の努力を称えたいと思います。そして観光事業に関わる職員のみならず、保健医療の分野では多くの研修医や専門家を本市にお招きするなど確実な実績をおさめている病院局職員、また平戸市ならではのユニークな手法による「ふるさと納税制度」が注目され新たな財源確保や物産の魅力発信に確かな実績をおさめている企画財政課職員、滞納整理や公売会などの取り組みで県内屈指の高い評価を受けて行政関係の視察を呼び込んでいる税務課職員、スポーツ交流や生涯学習部門など世代を超えたイベントで市内外から誘客を図っている教育委員会職員、そして地域の魅力を住民の皆様とともに発信している各支所の職員、さらに災害復旧を早急に進め交通や移動の利便を保障している建設課やまちづくり課の職員など、皆さんがそれぞれに持てる力を発揮して交流人口を増大させていることはまさに分野をまたがる幅の広い戦略であり、市の総合力を結集強化した成果であると確信しています。これを契機に更なる記録更新に努力を重ねてまいりましょう。

先月庁内において「世界遺産登録推進本部」と「行政改革推進本部」が設置されました。いずれも庁内横断的に進めなければならない重要な使命を担っており、それぞれの機関において取りまとめられる計画は、今後の平戸市の命運を左右する大きな仕事にもなると思われます。全ての職員がこれらの使命に向かって積極果敢に関わってほしいと望むところですし、市民からの信頼が寄せられるような成果を導き出してほしいと思います。

ここで一つの提案があります。現在、民間のアイデアと大学との連携によって

実施されている「平戸観光応援隊」事業が進められていることはご承知のこと  
と思います。この事業は Facebook にも紹介されており、最近では動画によるシ  
リーズとして様々な平戸市の魅力が発信されていますので、ぜひとも皆さんも  
時間を見つけてアクセスしていただき情報発信のお手伝いとして応援してもら  
いたいと思います。

さていよいよ 6 月定例会市議会が開会されます。

4 月から大胆な機構改革によって新しい枠組みで各種業務が進められていま  
すが、その評価を受ける重要な議会となりそうです。また緊急雇用創出事業や  
放課後児童クラブ施設整備事業など増額を含む補正予算議案ほか盛りだくさん  
の議論を交わす議会となりますので、議員各位の質問に対しても、それぞれの  
所管責任者と共に事前の準備に手抜きなきよう万全の態勢を整えて、しっか  
りと答弁させていただき説明責任を全うしたいと思います。

また、先月から今月にかけて市内で各種団体の定期総会が開催されています。  
こうした機会に行政が取り組んでいる様々な事業についてご理解をいただく絶  
好のチャンスでありますから、来賓あいさつの内容はもとより配布できる資料  
等を用意するなど市民の皆様と常に情報を共有していくという姿勢を保ち続け  
ていただきたいと思います。

梅雨時期の鬱陶しい湿度の高い日や暑くなりそうな日が続くことになると思  
いますが、熱中症などご家族を含む健康管理と天候不順下の交通安全にも十分  
気を配りながらともに頑張りましょう！

平成 25 年 5 月 30 日

平戸市長 黒 田 成 彦